

令和元年度

議会広報編集委員会 行政視察報告書

- 【視察先】 埼玉県寄居町（寄居町役場 第1委員会室）
- 【視察日時】 令和元年10月9日（水） 13時30分～14時45分
- 【視察内容】 議会だよりの編集について
- 【対応者】 寄居町議会 峯岸克明議長
議会広報広聴特別委員会 鈴木詠子委員長、笠原則夫副委員長
田母神節子委員（副議長）、大澤博委員、中嶋文雄委員、保泉周平委員
権田孝史委員、角田真一議会事務局次長、吉田直倫事務局書記
- 【報告者】 久保田智

1 説明内容

議会だよりを読む対象は町民であるという事。この視点が重要である。

- ① 読まれない議会だよりは出す意味がない
- ② 視点は、議員と町民。報告が主ではなく住民が知りたいことが優先である。
- ③ 表紙と企画については、シリーズ化をしている。現在は、「人シリーズ」
- ④ 動画の活用についてはQRコードを利用している。

2 質疑応答

- ① QRコードの編集についてはどのように行っているのか
 - ・議員が行っている。議会のホームページは町のホームページの一部であることから議会の内容はQRコードを活用している。
- ② 動画の保存について
 - ・公の場所に保存をしている。
- ③ 議会広報発行の流れについて
 - ・印刷会社の役割として、会議にも出席して頂いている。事務局、委員、業者と一体となって取り組むことによって流れ、レイアウトの効率が良い。
 - ・テーマを絞って作っていく事によって、ポイントが見えてくる。
 - ・個人個人がポイントを理解していく事で、合意形成がなされ、チームへとつながっていく。テーマを決めるのもすべての議員の参加、基本条例の精神が生かされている。
- ④ 寄居町議会広報広聴特別委員会委員の方々より北広島市議会だよりへの意見
 - ・寄居町の広報は、毎回レイアウトが違う。議会としての発信を重要視。
 - ・一般市民の意見が少ない。市民とのつながりを意識する。
 - ・市民の声は議会への応援ととらえる。市民の声を取り入れる挑戦を。

3 所感

思わず手に取ってみたいくなるレイアウト、内容であり、チーム議会としての活動を理解して頂こうという姿勢を強く感じました。

令和元年度

議会広報編集委員会 行政視察報告書

- 【視察先】 東京都あきる野市（市役所会議室）
【視察日時】 令和元年10月10日（木） 10時30分～12時00分
【視察内容】 議会報リニューアルについて
【対応者】 あきる野市議会議員 ひはら省吾氏（広報広聴委員会副委員長）
窪島成一氏（広報広聴委員会委員）たばたあずみ氏（同委員）
【報告者】 人見哲哉

1 説明内容

①なぜ議会報のリニューアルが必要だったのか

- ・「手にとってもらえる紙面づくり」と「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」が必要だったため

②どのような紙面構成を考えたか

- ・興味を引くターゲットを絞った特集とそれにリンクした表紙を作っていく
- ・「読みやすさ」「導線」「ホワイトスペース」「統一感」にごだわる
- ・裏表紙には小学生が夢を語るコーナーを設ける
- ・議案審議や一般質問のページは①行政用語を通じる言葉にする ②知らせたいことと知りたいことの差を意識する（市民目線） ③読んでほしい量と読める量の差を理解する。（市民目線）

2 質疑応答

①紙面構成の上で一番重要なことはなにか

- ・勇気をもって空白（ホワイトスペース）を多くとる
- ・一般質問は一つの項目に絞る
- ・カラー化し、写真を効果的に使っていく

②特集の対象者はどのように決めていくのか

- ・対象者は委員が人選し、委員が取材対応を行う

③一般質問の人数が増減する際、紙面の校正はどう対処するのか

- ・あらかじめ予備的な記事を常に用意しているが、議会の一般質問には議長を除いた20人の議員がほぼ毎回質問されるので、紙面のボリュームは変わらない

3 所感

一目見て見やすく、興味をもちやすい紙面構成で、とても参考になった

令和元年度

議会広報編集委員会 行政視察報告書

- 【視察先】 東京都羽村市（市役所庁舎4階 特別委員会室）
【視察日時】 令和元年10月10日（木） 14時00分～15時30分
【視察内容】 議会広報の編集について
【対応者】 羽村市議会 橋本弘山議長、中島勝委員長、印南修太副委員長、大塚あかね委員、ほか
【報告者】 佐々木百合香

1 説明内容

1. 議会広報は、以前は議会事務局任せであったが議会改革の一環としてリニューアル。
2. 平成18年度に一問一答式の文章表現を採用、「編集方針（わかりやすい・読みやすい・親しみやすい）」を明文化し、議員間の共通認識をはかった。
3. 平成25年に一年間かけて本格的なリニューアルを検討、26年にリニューアル。隣接する先進自治体あきる野市、佐賀県嬉野市議会を参考にした。また雑誌「地方議会人」の議会法クリニックへ投稿し、そこで得られたアドバイスを実践した。
4. 文字の大きさや読みやすさも大切だが、情報量を少なくしすぎないようにした。
5. サブタイトル「ぎかいのトビラ」は議員全員協議会で了承を得た。表紙の写真は巻頭インタビューの内容と連動したものを使用。
6. 巻頭インタビューで市内で活動する団体を紹介、市民の笑顔で惹きつける。取材は議会編集委員会ではなく、3つの常任委員会で順番に担当している（取材依頼、インタビュアー、記録係は議員。取材には事務局も同席、記録係と事務局と一緒に原稿を作る）
7. 平成26年11月市民アンケートでは「読みやすい、興味関心を持った」を合わせると81%。カジュアルすぎる、コストアップが気になるとの意見もあった。
8. 20年以上続くケーブルテレビがあり、議会日程などを知らせ傍聴を呼びかけるCMをケーブルテレビで放送。1作目は議員が作成、2作目以降はケーブルテレビが作成。
9. 一般質問については、スケジュール的に再質問の文言チェックができないため一回目の質問と答のみ。一般質問は質問する議員が原稿を作る（500字以内＋写真）それぞれの質問にQRコードがあり、インターネット上の一般質問録画にジャンプできる。
10. 編集スケジュールとしては一般質問通告依頼と同時に一般質問の原稿依頼、定例会初日後に一般質問の原稿締切、一般質問の原稿チェックを会期中におこない、閉会后インタビュー等の原稿締切、データ入稿したあと2度目の広報委員会でチェック、校了とする。発行は閉会日から約1か月。
11. 年4回、26,250部作成、一部当たり31,68円（24ページ）配布はシルバー人材センターに委託、市広報誌と同時に全戸配布（一回当たり272,790円）

2 質疑応答

Q．議案審議について。大きく載せるものはどう選んでいるか？

A．事務局で選定。新規条例 条例改正 補正予算の順に載せている。

Q．市民インタビューでは団体を取り上げているが、個人は？

A．個人をとりあげる発想はなかった。羽村市はボランティア、市民活動が盛んなため議員と市民の垣根が低くなったが、永遠にこれをやるかと言われれば議論もある。

Q．市民団体選定、取材を各委員会でやる際、最初はどのように？

A．(大塚あかね委員より)当時自分が厚生委員会の委員長もしていたので、厚生委員会に持ち帰って「やろう」と提案した。

Q．インタビューに行くのは公務？

A．公務として派遣依頼をしている。

Q．特集に若い人を出すなど、若い人向けの訴求はどのようにおこなっているか？

A．色々な層の方を表紙に取り込むあきるの市の例を参考にしていることもあり、若い方にも出ていただきたいという思いはある。課題だ。

Q．一般質問の原稿には再質問は入れないのか？

A．初回の質問のみに統一している。会期中に一般質問の原稿チェックをすることで集まる回数を減らしている。

Q．一般質問をする人数によって紙面構成が変わると思われるが、その調整はどのようにしているか？

A．毎回、だいたいの議員が一般質問をするので、ほとんど構成は変わらない。

Q．レイアウト等はどのようにしているか。

A．一般質問、表紙は決まった形ができています。前任の事務局の方のセンスが良く、特集の市民インタビュー、裏表紙の議案は去年まではDTPソフトを使って作っていたが、今年からはwordで二段組み、三段組みで作成している。

Q．議会だよりリニューアル後、傍聴者数は増えたか？

A．大きく増えているということはない。ケーブルテレビで議会中継をしているので、そのせいかもしれない。

Q．印刷業者の選定はどのようにしているか？

A．印刷費は年4回+選挙後の臨時号で400万円弱。近隣を含め、複数の業者より入札

した。カラーと白黒の見積もりが同額だったため、モノクロよりカラーが良いと選択した。

3 所 感

- 1 . 市民団体への取材であれば、話のテーマが自然に決まり取材しやすいかもしれないと感じた。
- 2 . すっきりとした形ですべての議案について賛否も載せている。議案に対する賛否は市政をチェックするそれぞれの立場を明確に示すので、削らない方が良いのではと感じた。
- 3 . 一般質問の記事に、録画動画にジャンプするQRコードがついている。とりあげたテーマに興味を持った市民、特にスマホを使っている若い世代が簡単に録画動画にアクセスすることが期待できる。仕事などで平日昼間の議場に足を運べない層には有効ではないだろうか。
- 4 . 印刷について、カラーと白黒の見積もりが同額だったということに驚いた。北広島市で現在、市議会だよりの印刷をお願いしている業者が今後今まで通りの条件で受けられなくなるのとなので、編集・発行について、どのような形がいいのか、色々な可能性を検討したい。

【行政視察 写真】

寄居町



羽村市



あきる野市



【行政視察ほか】

日本広報協会



※議会広報リニューアルの参考にするため全国の市議会広報を閲覧するために、令和元年10月11日(金)に日本広報協会を訪問しました。その際広報協会担当者の助言を仰ぎながら、他市議会広報との比較・リニューアルの検討を行いました。